

診療所へ御通院の皆様  
訪問診療中の皆様

## 新型コロナウイルスワクチンの かかりつけ医療機関での接種、当院での見通しについて

2021/3/1

洛北診療所長小林 充

### 1. 新型コロナウイルスワクチンそのものについて

現時点での評価を要約すると、発症予防効果・重症化予防効果は高い、副反応はインフルエンザワクチンなどに比べやや強く多いが重大なものはごくわずか、それでも準備と理解は一段と必要、長期的な効果と有害事象・アジア人でのデータ・15才以下と75才以上のデータはまだ不足、変異株は効果がやや弱い可能性がある、等となっています。

### 2. ワクチン接種は、お一人お一人が納得づくで受けてください。

ワクチンは、多数の方がうってもらえば社会全体としては効果があると考えられるので推奨されますが、最終的にはご本人が決めるものです。いいところ悪いところ事前に資料をみて決めておいてください。あらかじめかかりつけ医師に質問しておくのもよいと思います。京都市のコールセンターが開設されています。



### 3. 京都市は練馬方式と呼ばれる、かかりつけ医と集団接種との両方と発表されています。

現在かかりつけ医接種（通院と往診）を担う意思のある医療機関を医師会が募集しており、当診療所もこれに対して、参加の意思表示をしております。何か指定の基準などがあるのかどうか、今後通達があるものと思われます。詳細決まり次第、また診療所受付・ホームページ・診療所前掲示・留守番電話などでお知らせしたいと思っております。

### 4. 診療所で打てることになった際は、人数制限のある予約制になると思われます。

当面は、保管にマイナス70度の冷凍庫が必要なタイプのワクチンとなると思われます。マイナス20度の冷凍庫で14日以内、通常冷蔵庫では5日以内の使用、1バイアル通常注射器なら5人とされます。従って、これまでのインフルエンザワクチン（冷蔵保管可、1バイアル1～4回分）の際のようにどんどん打つのは困難で、ワクチンの入荷に合わせて使い切れる人数分予約させてもらうことになりそうです。詳細はこれからです。

### 5. まずは65歳以上の方、それに続くのが65才未満の基礎疾患のある方です

基礎疾患のある方とは、心臓病（高血圧含む）・腎臓病・肝臓病・糖尿病・呼吸器疾患・血液疾患（鉄欠乏性貧血除く）・免疫能の低下する疾患（悪性疾患や免疫能抑制する治療中含む）・神経疾患神経筋疾患・染色体異常・重症心身障害・睡眠時無呼吸・BMI30以上の高度肥満、などとされています。

### 6. かかりつけ医のない方は、現時点では、原則集団接種となる見込みです。

かかりつけ医の定義は曖昧ですが、概ね慢性疾患で定期通院している方は対象となると思われます。「何かあればかかる」と言う方まで対応できるかどうかは、今後診療所の能力と秤にかけて判断させてもらうことになると思われます。あるいは、医師会や京都市から、集団接種とのバランスを考えて何らかのアナウンスがあるかもしれません。